

家庭科年間指導計画・評価規準【第7学年】

学校番号【14】 東京都板橋区立上板橋第二中学校

月	単元名	時数	学習内容	各単元の観点別評価規準			評価方法・資料等
				① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度	
4	ガイダンス 家族・家庭の機能 中学生としての自立	5	・家庭や家族の機能について考える。 オ	・自分の成長のふりかえりを通して、中学生の時期にある自分と家族や家庭生活との関わりについて関心をもって学習に取り組もうとしている。	・家族の一員として自分にできることは何かを考え、工夫している。	・家族の一員として、家庭の中でできる仕事を考えて実行する。 ・家族と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。	・授業中の活動の観察…①②③ ・ノート…①②③ ・定期考査…①②③
5			・中学生としての自立を考える。 家庭生活と地域との関わりを考える。	・家庭や家族の基本的な機能について理解している。			
6	衣服の選択と手入れ 生活を豊かにするための布を用いた製作	15	・既製服の表示について知る。 ・生活を豊かにするためにブックカバーを作る。 ・作品制作のために手縫いの方法やアイロンその他の用具を使用することができる。 ・環境に配慮した消費生活について考えることができる。	・身につけている衣類には取り扱い表示があることを知る。 ・ブックカバーを仕上げるやり方を理解している。 ・衣服の取り扱い表示がどんな意味かがわかる。 ・意欲を持って積極的に作業に取り組んでいる。	・自分や家族の衣類の取り扱い表示の意味がわかる。 ・作業のやり方を学び、工夫している。 ・仕上げた作品に自分の考えた工夫をしている。	・取り扱い表示に基づいて家族に衣類の洗濯ができる。 ・小学校の復習の基礎縫いができる。 ・覚えたやり方で作品を仕上げることができる。 ・作品に自分の工夫を入れて、生活を豊かにできる。	・授業中の活動の観察…①②③ ・ノート…①②③ ・定期考査…①②③
7							
9							
10							
11	日常食の調理 消費者の権利と責任	5	・安全と衛生と環境に配慮した調理実習を行う。 ・調理に必要な計器や調理器具を正しく扱う。	・安全や衛生に気をつけて実習しようとしている。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・班の人と協力して調理しようとしている。	・実習の際、手際よく、分担・協力し工夫して調理ができる。	・安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理ができる。(・魚や肉などの生の食品・ふきん・まな板などの調理器具・調理用熱源)	・授業中の活動の観察…①②③ ・ノート…①②③ ・定期考査…①②③ ・作品…①②③
12	住居の機能と安全な住まい方	3	・住居の機能を理解する。 汚れに応じた掃除など、室内環境の整え方を知り、住まい方を工夫する。	・自分や家族の快適な室内環境に関心を持ち、整え方や住まい方の具体的な課題に取り組もうとしている。	・快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	・快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	・授業中の活動の観察…①②③ ・レポート…①②③ ・定期考査…①②③
1	金銭の管理と購入 消費者の権利と責任	7	・現在までの金銭の使い方と買い物振り返る。 ・中学生にかかわりの深い事例をもとに、ロールプレイングを用いて、適切な消費行動の取り方を学ぶ。	・契約の意味がわかる。 ・消費者としての適切な行動と自覚を持つ。 ・消費者の権利・保護について、法律や制度に関心を持つ。	・消費者トラブルにあった時にどのように対処するかがわかる。 ・消費生活の問題点を理解している。	・購入のトラブルや解決方法を知り、生活に活かすことができる。 ・情報を集め、選択することができる。 ・販売方法について、利点と問題点がわかる。	・授業中の活動の観察…①②③ ・ノート…①②③ ・定期考査…①②③
2							
3							
配当時間合計		35					